

未来の天草を担う子どもたちからのメッセージ



天草市立本渡中学校
3年 木下 穂さん

私は、8月3日から12日までの10日間、天草市姉妹都市交流事業の研修員として、アメリカのエンシニタス市に行かせて頂きました。

言語も生活文化も違うアメリカでの滞在は、多くの困難もありましたが、それを自分の力で乗り越えられたときは大きな達成感と自信を得ることができました。全く新しい環境に一歩を踏み出したことで、世の中の見え方が大



熊本県立荻明高等学校
2年 洲崎みずきさん

私は、気候が穏やかで自然が多い天草が好きです。食事がおいしく人が優しい天草が大好きです。だからこそ、多くの若者が天草を出て行っている現状を寂しく、残念に思います。そこで、天草市に、ぜひ大学・短大や専門学校を作ることを要望します。

今、天草市には看護系専門学校が1校しかありません。その学校も募集人数には限りがあります。天草を離れた

大きく変わりました。そして、自分の将来を考えるよい機会にもなりました。天草がさらに豊かで魅力のある街になるためには、世界に目を向けることが大切であることも実感できました。

今後、ぜひこのような活動や企画があるといいなと思います。そして、世界に通用する天草をみんなの力で作って行ければと思います。私も貢献できるように頑張りたいです。

このような貴重な経験ができたのは、この事業に携わってくださった方々、全ての市民の皆様のおかげだととても感謝しています。

くないという思いがあるにもかかわらず、学びたいことを学ぶため、天草を出ざるを得ないという人も少なくありません。もし天草に大学や短大ができれば、天草で学び、天草で働き、天草に根を下ろす人ももっと増えると思います。そうすれば、人口の流出を防ぐことはもちろん、他県から天草に人を呼び込むこともできます。若者が都会に魅力を感じる点は、交通や買い物に便がありますが、それも大学等を作って人を呼び込めば、少しずつ若者も過ごしやすい環境になっていくと思います。それは天草全体の活性化にもつながっていくはずですよ。

北海道をゆく

イゲ神社（栖本町馬場）
栖本駐在所前



昔、栖本干拓の潮止めの際、『お年』という人を人柱としたため、その霊をまつり『年神社』として拜むようになったと云われています。しかし、永年の間に神社の囲いに『イゲ』が栄え人々は、誰いうとなく『イゲ神社』と呼ぶようになったそうです。

イゲ神社は、のどや手足にトゲが刺さった時に、願いをかければ不思議とすぐ治ると評判があり、霊験あらたかな神として、近郷近在の参拝者が多く後をたちません。

松江 雅輝

編集後記

この度の、「台風15号」、「平成27年9月関東・東北豪雨」の災害に対し、心よりお見舞い申し上げますと共に、1日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。最近、ニュース等で「異常気象」という言葉をよく耳にしますが、豪雨、竜巻、火山噴火などの自然災害は、いつ発生するかわかりません。

今一度、避難場所等の再確認を行っていただき、災害発生時は市役所からの防災無線や安心・安全メールで情報を収集するなどして、安全確保に努めていただければと思います。

柴田 誠



天草市議会広報聴取委員会

- | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|
| 益田 政昭 | 蓮池 良正 | 宮下幸一郎 | 中尾 友二 | 濱洲 大心 | 柴田 誠 | 副委員長 | 平山 泰司 | 松江 雅輝 |
|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|